

愛ランドまつやま

発行：松山離島振興協会 / 文責：会長 田中政利

【お問い合わせ先】

事務局長 俊成雅直 Tel：997-2189 メール：airando-matsuyama@rhythm.ocn.ne.jp



アイテムえひめの特設舞台で『しまはく』の迫力ある文字をバックに興居島伝統の「船踊り」や小浜地区に伝わる「道具踊り」を披露



畑野 しま二郎

しま二郎

春の海

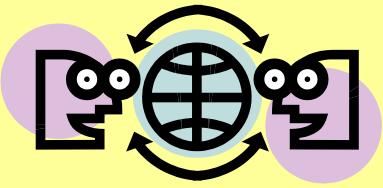
しまぼうと

島で遊ぼう



平成十七年十月二日、日曜日の中島総合文化センターでは『みんなのまつやま夢工房』の市長報告会が行われていました。夢工房は松山市の行う集会型の広聴事業。時々の市の重要課題をテーマに、公募や推薦で集まった市民から研究活動の成果を提言してもらおうという市民提案型の事業です。同年一月一日に二市一町の市町合併を行い、九島の離島を抱えることになった松山市は、離島の活性化を喫緊の課題と捉え、翌年度に早速、夢工房のテーマとして離島振興を掲げました。そして、そこで提案されたひとつが島嶼部博覧会開催のアイデアでした。それから五年半。平成二十二年四月二十九日、祝日のアイテムえひめには、二万四千人を超える市民が押し寄せ、テープカットを今や遅しと待ちます。マスコットキャラクターに選ばれ、『しまで遊ぼう』の意味合いから『しまぼうと』と名付けられた着ぐるみがみなさんをお出迎え。実行委員長の田中会長は感極まる面持ちであいさつ。そして市長からのねぎらいも……。昨年のプレ開催期間を経て、今年度本格開催となる松山島博覧会、通称『しまはく』の開催です。ついに開催を迎えた『しまはく』ですが、ここまでの道のりは決して易しいものではありませんでした。「絵に画いた餅を食べられる餅に」そんな作業が博覧会開催のためには不可欠でした。当時、当の市長にもそう言われました。「それは一体だれがやるんですか」と。顔の見えない計画には協力できないと言われたわけです。私たちはやや愕然としました。しかし、打ちひしがれはしませんでした。「そのとおりだ」「これはだれのためのものでもない」「自分たちが自分たちのためにやることだった」と即座に気付きました。しかし、そこがらが大変でした。本当に三年ぐらいいは、開催までたどりつけるのかどうか、分かりませんでした。「しまびとの気持ちを含み、しまびとの幸せにつなげたい」その一心でここまで来れた気がします。市長や担当部署への感謝はもちろんですが、協会の活動に賛同し、共に立ち上がってくれた各島の仲間たちにお礼を言います。「ありがとう」「そしてこれからも一緒に」秋まで続く『しまはく』が、忽那の島々の元気の基となりますよう心から願っています。

松山離島振興協会 第5回総会 開催



—離島振興にける意気込みを
全会員が共有し、実行に!—



興居島の由良公民館で開催され、人事案件も
審議された松山離島振興協会の第5回総会

平成十八年四月十五日の組織立ち上げから早いもので、丸四年の月日が流れ、この四月をもって五年目の活動期に入る松山離島振興協会の第五回総会が、興居島の由良公民館で開催されました。

四月十七日に開催された総会には、正会員六十五名の内、二十七名が出席。委任状提出者三十六名と合わせ六十三名が参加する形で総会が成立し、多くの賛助会員が見守る中、議事に入りました。今回の総会は改選期にあたっており、理事の選任および正副会長の選挙、並びに監事の選任といった人事案件がまずもって審議され、理事は一名増の十九名が承認されました。会長・副会長人事は、田中政利氏、古野真理子氏がそれぞれ再選出され、もう一人の副会長については、興居島各町連絡協議会の

新会長をもって充てることが申し合わされました。同月二十六日、新会長に由良町の山本士人町内会長が選任されたため、五月定例会で正式に、山本氏の副会長就任が決まりました。また、監事には同じく由良町の前町内会長である赤崎務氏が選任され、松山市教育委員長の金本房夫氏には引き続き監事をお願いすることとなっています。

人事案件を無事終了し、続いては平成二十一年度の事業報告並びに決算の認定です。最後の年となった「坂の上の雲フィードバック」活動支援事業の報告も含め、平成二十一年度の実施の各種事業について報告し、承認を得たものです。引き続き、平成二十二年の事業計画並びに会計予算を説明。今年度実施を目論む「船上ピアガーデン事業」「大人の修学旅行事業」「シンボルマーク活用ユニフォーム政策事業」「海藻類開発事業」「定住促進木婚式実施事業」「しまはくブログ書き込み事業」など多くの新たな取り組みを概略ご説明し、承認をいただきました。

すべての審議を終了した後、陪席をいただいていた、離島振興担当で松山島博覧会を所管する企画政策課 大野課長から、これまでの離島振興の進捗と今後のさらなる取り組みについて、報告並びにお願いの旨のお話がありました。

それを受け、田中会長から改めて、「協会の所期の目的である島の活性化へ向けた継続的取り組み」について、会員各位へのさらなる協力依頼がありました。

【新役員の顔ぶれ】

- 会 長 田中政利（上怒和地区）
- 副会長 古野真理子（大浦地区）
- 山本士人（由良地区）
- 事務局長 俊成雅直（大浦地区）
- 事務局総務 竜子浩之（味生地区）
- 事務局会計 小立金徳（小浜地区）
- 地域産業部長 島原和暁（泊地区）
- 同 副 部 長 石丸和久（吉木地区）
- 観光振興部長 田中 治（睦月地区）
- 同 副 部 長 石本憲三（釣島地区）
- しまづくり部部长
- 同 副 部 長 内藤久司（野忍那地区）
- 同 副 部 長 佐伯遵也（安居島地区）
- その他理事 金澤泰子（桑原地区）・中矢章敬（東温市田窪）・中本安俊（由良地区）・竿尾長吉（津和地区）・河本宣文（門田地区）・小池嘉彦（泊地区）・瀬村要一郎（三津浜地区）
- 監事 金本房夫（神浦地区）
- 同 副 部 長 赤崎 務（由良地区）
- 顧問 前田 眞（伊予郡松前町）
- 同 副 部 長 山田 寿（東温市野田）

総会終了後、同会場で引き続き四月定例会を開催し、平成二十二年の詳細な活動計画など協議しました。また、定例会終了後は懇親会を開催し、会員相互の懇親をより深めることができました。

右表が平成二十二年からの新役員です。新体制で臨んでまいりますので、ご協力のほど、よろしくお願いたします。

石本邸の石窯お披露目パーティに潜入!!

このたびの「しまはく」開催に伴い、内陸部から最も手近な島、興居島には、なんと五カ所十基もの石窯が据えられました。それぞれ、体験メニューを受付中で、多くの申し込みでにぎわっています。今回は、そのひとつである石本邸の石窯を紹介します。

協会の理事を務める石本憲三さんは釣島の出身。由良地区にもお宅を構え、両島で活躍中です。そんな石本さんの由良邸に据えられたレンガ造りの石窯は、三連式の立派な造りで、憲三さん自慢の逸品です。火の番を務めるのはご主人の仕事ですが、調理の切り盛りはむろん奥さんの晴美さんの役目。お料理上手な晴美さんは、憲三さんの釣った海の幸のほか、独自のアイデアを生かした海鮮ピザ



石本邸の庭先に据えられた石窯3基高台のお宅からは眺めも最高です!



を次々に考案し、訪れるお客様から大好評を得ています。メニューはピザばかりではありません。メニユーラタンやラザーニアなどの欧風料理のほか、鷺ヶ巣地区でひらめ養殖を手がける協会会員の香川さんとの連携で、「ひらめの塩窯焼き」にも挑戦しています。ほど良い塩加減に焼き上がったひらめの身は適度に引き締まり、ご飯のおかずにも、お酒の肴にもぴったりです。協会メンバーへのお披露目となった四月四日のパーティでは、それぞれが持ち寄った素材で自らが作ったピザを食したほか、前述のひらめ塩窯焼き、窯焼き芋まで登場し、参加した会員らは、石窯の威力に感動しきりでありました。石本さんちの石窯は一週間前までの予約制で、人数は八人から五人程度。料金は中学生以上千五百円、小学生以下八百円です。申し込みは十九時から二十一時の間に、電話九六一―二〇三三まで。

しまはくのスタッフブログにしまゆきたちが登場!

松山島博覧会のホームページで、みなさんからよく閲覧されているのが、スタッフブログのコーナーです。ブログとは、近頃、流行り始めたインターネット上の日記のこと。多くの芸能人やスポーツ選手、政治家なども自分のブログを立ち上げ、手軽に更新できるメリットを生かして、日々の出来事や最新情報など掲載しています。もちろん、しまはくのブログには、いつでも島の情報が満載なのですが、さらに強力な助っ人が登場しました。忽那諸島イラストマップに登場する3人のキャラクターです。小学3年生の島好き少年「忽那しまゆき」、しまゆきの叔父で大学の先生の「河野しま二郎」、しま二郎のゼミの学生「姫野せとか」が、各島のさまざまなイベント情報をお伝えしていきます。



しまゆきたちが各島の魅力を完全レポート!!

一見の価値どころか 必見の「絶景ビュー」ぞなもし

五右衛門も思わず唸る 小富士山からの眺め

昨年4月11日の竹刈り作業から約1年。興居島のシンボル小富士山からの眺望を確保するべく、再びの協会からの呼びかけに、地元泊地区を中心に興居島内外から集まった有志たちによって、4月3日、2度目の竹刈り作業が敢行されました。高浜側、釣島側と2班に分かれての作業。昨年の刈り残しや新たな伸び代を一気に刈り倒していきます。昨年より台数を増やしたチェーンソウが視界を塞いでいた巨竹群を取り払い、眼前に釣島がくっきりと現れた瞬間、どっと歓声が沸きました。石川五右衛門も「絶景かな～」と唸るはず。ぜひ、ご自身の目でこの感動を。



【地域産業部】

『しまはくオープニングイベント』で、海藻を練り込んだ「冷やしうどん」をお披露目しました。興居島特産の自然薯とのコラボで、今もっともニーズの高いヘルシー食品としての売り出しです。てんぐさ、わかめ、ひじきの3色うどんは見た目にも食欲をそそり、粘りのある自然薯がさらに滋養を高めるといふ寸法です。手軽に食べられるファーストフードであり、健康志向のスローフードでもあることから、きっと現代人の生活様式や嗜好にマッチすることでしょう。とりあえず今夏からの、島での提供をめざしています。

《お問い合わせ・お申し込み》

部長 島原和暁

TEL961-3293



【観光振興部】

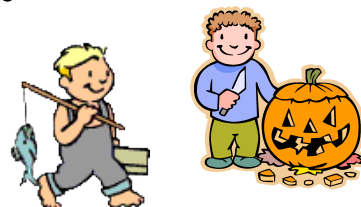
今年度、取り組みたいと思っていることのひとつに、『船上ビアガーデン構想』があります。潮風に吹かれ、夕焼けから宵へと暮れゆく海空を眺めながら、酒と雰囲気に酔う。『大人の修学旅行』の発想と根っこは一緒ですが、なにせ、「大人の遊び」を突き詰めてみたいと思っています。

大人も昔は子どもでした。「童心に帰る」のことばのとおり、大人だって遊びたいはず。大人の興味・関心に訴えかける魅力的な「しま遊び」を、これからもどんどん提案していきますので、ぜひご参加ください。

《お問い合わせ・お申し込み》

部長 田中 治

TEL998-0243



【しまづくり部】

みなさん、『木婚式』をご存知ですか。結婚50周年の金婚式、25周年の銀婚式は有名ですが、結婚記念日は1年目の紙婚式から15年目の水晶婚式までは1年刻みに、それ以降は5年刻みで60周年のダイヤモンド婚式まで、さらに別格の75周年のプラチナ婚式が控えるなど、夫婦円満を祝う儀式はとても大切です。そこで、松山離島振興協会が設立5年目を迎えた本年度、これを記念して、結婚5周年のご夫婦を祝う『木婚式』を企画します。島在住の結婚5年目のご夫婦に記念品を贈り、定住促進に役立てたいとの思いです。詳しくは本紙夏号にてお知らせしますので、乞うご期待です。

《お問い合わせ・お申し込み》

部長 内藤久司

TEL998-0606



『しまはく』の最新情報は、ホームページが一番！

<http://iland-matsuyama.infoseek.ne.jp>



☆ 松山離島振興協会は、会員のみなさんの会費によって運営されています☆

☆ あなたも会員になって、いっしょに活動しませんか☆